



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 松田 明彦 TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 2021年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	74,164	12.8	9,021	59.2	9,840	58.7	7,015	85.3
2020年12月期第2四半期	65,775	8.7	5,665	22.4	6,200	23.0	3,786	31.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 11,275百万円 (618.1%) 2020年12月期第2四半期 1,570百万円 (69.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	54.76	
2020年12月期第2四半期	28.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	258,979	206,922	78.1
2020年12月期	241,832	197,642	79.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 202,191百万円 2020年12月期 192,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		15.00		15.00	30.00
2021年12月期		17.00			
2021年12月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,000	15.4	18,000	45.9	19,000	45.5	13,000	59.7	102.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規、除外 1社(社名)大分ケミカル株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	128,300,000 株	2020年12月期	128,300,000 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	112,285 株	2020年12月期	196,018 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	128,127,518 株	2020年12月期2Q	131,395,628 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年6月30日まで)の世界経済は、ワクチン接種が進むとともに経済活動が正常化する期待もありましたが、変異株による感染者の増加により、先行きは不透明な状況が続いております。

わが国経済は、電子部品関連や自動車関連などでの生産増もあり、GDPの前年比も1-3月のマイナスから4-6月はプラスの見通しとなり、景気の回復を感じさせています。しかしながら、一部の非製造業ではいまだに弱さが見られる状況です。

このような情勢下、当社グループの業績については、売上高は741億6千4百万円(前年同期比12.8%増収)、営業利益は90億2千1百万円(前年同期比59.2%増益)、経常利益は98億4千万円(前年同期比58.7%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は70億1千5百万円(前年同期比85.3%増益)となりました。

(イ) セグメント別の業績

① 基幹化学品事業

当セグメントは全般的な需要の回復に伴い販売が増加いたしました。電解製品は、一部、需要の回復が遅れた分野もありましたが、販売数量増となりました。アクリルモノマー製品は、アクリルゴムや塗料向けなどの需要の増加が見られ、また、シンガポール子会社においても販売数量は増加しました。工業用ガスも、自動車産業向けなどの需要回復により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は328億8千3百万円(前年同期比14.4%増収)となりました。

営業利益は、販売数量増により、37億5千9百万円(前年同期比88.4%増益)となりました。

② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、自動車関連製品向けの販売数量が増加しました。アクリルオリゴマーは、国内外において塗料やインキ用途向け、電子製品向けの販売数量が増加しました。高分子凝集剤は、三菱ケミカル株式会社の販売事業を承継したため増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は164億8千6百万円(前年同期比20.5%増収)となりました。

営業利益は、販売数量増により、26億8千9百万円(前年同期比58.9%増益)となりました。

③ 接着材料事業

瞬間接着剤は、家庭用は昨年並みの出荷となりましたが、工業用は自動車向けの需要が回復し販売数量が増加しました。機能性接着剤は、自動車関連および電子デバイス分野向け出荷が好調で増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は55億2百万円(前年同期比13.5%増収)となりました。

営業利益は、販売数量増により、6億2千8百万円(前年同期比115.7%増益)となりました。

④ 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、引続き半導体向け出荷が好調で、販売数量増となりました。無機機能材料は、電子部品向け製品や無機抗菌剤の販売数量が増加しました。これらの結果、当セグメントの売上高は47億3千9百万円(前年同期比6.6%増収)となりました。

営業利益は、液化塩化水素などへの積極的な設備投資に伴う減価償却費等の固定費増加がありましたが、販売数量増により、13億3千1百万円(前年同期比2.4%増益)となりました。

⑤ 樹脂加工製品事業

管工機材製品は、下水道などのインフラ工事が低調で減収となりました。建材・土木製品は、販売数量増により増収となりました。ライフサポート製品は、コロナ禍による在宅介護機会の増加による影響に加え、新製品投入効果により販売数量増となりました。エラストマーコンパウンドは、海外需要の回復により販売数量増となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は126億9千2百万円(前年同期比4.2%増収)となりました。

営業利益は、ライフサポート製品やエラストマーコンパウンドの販売数量増により、7億6百万円(前年同期比96.8%増益)となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は18億5千9百万円（前年同期比0.3%減収）、営業損失は9千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「投資有価証券」および「現金及び預金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ171億4千6百万円、7.1%増加し、2,589億7千9百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ78億6千6百万円、17.8%増加し、520億5千6百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ92億8千万円、4.7%増加し、2,069億2千2百万円となり、自己資本比率は78.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が増加しましたため、前年同期に比べ収入が11億8百万円増加し、135億9千1百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3か月超の資金運用において、前年同期には譲渡性預金が減少しましたが、当第2四半期連結累計期間では定期預金が増加しましたため、前年同期に比べ支出が60億6千5百万円増加し、132億8千3百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出が減少しましたため、前年同期に比べ支出が30億1千1百万円減少し、22億7千6百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は421億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億6千4百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間の業績は、全般的な需要回復により、出荷は増加し市況も堅調に推移したため、増収増益となり、2021年6月28日に発表しました第2四半期連結累計予想を上回りました。

第3四半期以降の業績につきましては、新型コロナウイルス感染者数の増加による経済活動の自粛懸念はありますが、引続き堅調に推移すると見込んでおります。また、需要動向の変化や国際政治状況を含めた様々な要因による為替レート、原燃料価格、製品市況などの動向に注意を払いながら、事業環境の変化に対して柔軟に対応することで、収益確保に努めてまいります。

このような前提のもと、2021年12月期通期の売上、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、2021年2月12日に発表しました連結業績予想を上回ると予想し、2021年7月30日発表の「2021年12月期連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。

<2021年12月期連結業績予想>

通期（2021年1月1日～2021年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	143,000	14,000	14,800	10,400	81円99銭
今回修正予想（B）	154,000	18,000	19,000	13,000	102円17銭
増減額（B-A）	11,000	4,000	4,200	2,600	—
増減率（%）	7.7%	28.6%	28.4%	25.0%	—
（ご参考）前期実績 （2020年12月期）	133,392	12,336	13,054	8,142	62円43銭

期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 （2021年2月12日発表）	15円00銭	15円00銭	30円00銭
今回修正予想	17円00銭	17円00銭	34円00銭
（ご参考）前期実績 （2020年12月期）	15円00銭	15円00銭	30円00銭

（注）予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断した数値であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,564	52,907
受取手形及び売掛金	39,757	43,703
有価証券	25,000	25,000
たな卸資産	17,094	18,247
その他	996	1,269
貸倒引当金	△36	△41
流動資産合計	131,376	141,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,661	26,542
機械装置及び運搬具（純額）	25,919	26,692
土地	17,679	17,746
その他（純額）	10,041	8,118
有形固定資産合計	78,301	79,100
無形固定資産		
	783	1,689
投資その他の資産		
投資有価証券	26,844	32,377
退職給付に係る資産	2,441	2,579
その他	2,099	2,159
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	31,370	37,102
固定資産合計	110,456	117,892
資産合計	241,832	258,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,130	16,068
短期借入金	6,903	6,886
未払法人税等	1,618	2,664
引当金	15	16
その他	12,670	14,070
流動負債合計	33,337	39,707
固定負債		
長期借入金	4,473	4,400
退職給付に係る負債	151	150
その他	6,228	7,798
固定負債合計	10,852	12,349
負債合計	44,190	52,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,046	15,067
利益剰余金	147,893	152,987
自己株式	△207	△119
株主資本合計	183,619	188,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,891	11,449
為替換算調整勘定	1,287	1,821
退職給付に係る調整累計額	86	97
その他の包括利益累計額合計	9,265	13,369
非支配株主持分	4,757	4,730
純資産合計	197,642	206,922
負債純資産合計	241,832	258,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	65,775	74,164
売上原価	47,293	51,889
売上総利益	18,482	22,274
販売費及び一般管理費	12,816	13,253
営業利益	5,665	9,021
営業外収益		
受取利息	37	18
受取配当金	458	582
持分法による投資利益	158	117
固定資産賃貸料	161	130
為替差益	—	30
その他	112	141
営業外収益合計	928	1,021
営業外費用		
支払利息	47	48
環境整備費	50	47
遊休設備費	17	16
為替差損	217	—
その他	59	89
営業外費用合計	393	202
経常利益	6,200	9,840
特別利益		
補助金収入	—	26
特別利益合計	—	26
特別損失		
固定資産処分損	233	88
投資有価証券評価損	361	—
特別損失合計	595	88
税金等調整前四半期純利益	5,605	9,777
法人税等	1,691	2,641
四半期純利益	3,914	7,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	120
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,786	7,015

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	3,914	7,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,196	3,554
為替換算調整勘定	△167	573
退職給付に係る調整額	20	11
その他の包括利益合計	△2,344	4,139
四半期包括利益	1,570	11,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,435	11,119
非支配株主に係る四半期包括利益	134	156

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,605	9,777
減価償却費	4,862	5,186
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	4
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1	0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△107	△121
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	△1
受取利息及び受取配当金	△495	△600
支払利息	47	48
為替差損益(△は益)	247	△69
持分法による投資損益(△は益)	△158	△117
補助金収入	—	△26
投資有価証券評価損益(△は益)	361	—
固定資産処分損益(△は益)	233	88
売上債権の増減額(△は増加)	5,116	△3,810
たな卸資産の増減額(△は増加)	△811	△1,051
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,027	3,860
その他	1,031	1,345
小計	13,894	14,515
利息及び配当金の受取額	587	705
利息の支払額	△53	△54
補助金の受取額	—	26
法人税等の支払額	△1,945	△1,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,482	13,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△3,181	△5,891
有価証券の純増減額(△は増加)	5,000	—
投資有価証券の取得による支出	△55	△431
有形固定資産の取得による支出	△8,564	△5,524
その他	△417	△1,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,218	△13,283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△10
長期借入金の返済による支出	△79	△79
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1,062	△3
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△1,939	—
リース債務の返済による支出	△96	△80
配当金の支払額	△1,972	△1,920
非支配株主への払戻による支出	△4	—
非支配株主への配当金の支払額	△135	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,288	△2,276
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83	304
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△108	△1,664
現金及び現金同等物の期首残高	43,113	43,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,005	42,135

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高性能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	28,748	13,684	4,849	4,447	12,179	63,909	1,865	65,775	—	65,775
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,882	590	37	32	5	2,547	738	3,286	△3,286	—
計	30,630	14,275	4,886	4,479	12,185	66,457	2,604	69,061	△3,286	65,775
セグメント利益	1,995	1,693	291	1,300	359	5,639	18	5,658	7	5,665

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	32,883	16,486	5,502	4,739	12,692	72,304	1,859	74,164	—	74,164
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,937	631	45	87	94	2,795	726	3,522	△3,522	—
計	34,821	17,117	5,547	4,826	12,786	75,100	2,586	77,686	△3,522	74,164
セグメント利益	3,759	2,689	628	1,331	706	9,116	△95	9,021	0	9,021

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。